9 防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.9)

種別	施工箇所
・ＡＩ－１	
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	

アスファルト　※３種　(9.2.2)

断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　・　・図示　(9.2.2)

材質　屋根保護防水断熱工法　※JIS A 9521押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種bA(ｽｷﾝ層付)

材質　露出防水断熱工法　※JIS A 9521発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材若しくは、JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号

乾式保護材の材料　(9.2.2)

種類		寸法(mm)：厚さ×幅	適用
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※Ⅰ類 ・Ⅱ類	※１５ × ・ ×	※無石綿に限る
・金属複合板		※１２ ×	

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種別	厚さ	施工箇所
・		
・		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)

種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・シルバー ・カラー	・非歩行 ・軽歩行
・				

接着工法の場合　(9.4.3)

脱気装置　種類　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

ＰＣコンクリート部材下地　(9.4.4)

目地処理(接着工法)　※図示

入隅部の増張り(S-F1、S1-F1工法の場合)　・行わない　・行う(幅　mm程度)

4 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー ・カラー

種別 Ｘ－１の脱気装置

・設ける　種類　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

5 シーリング

下表以外は標仕9.7.1による。　(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
・	

接着性試験　(9.7.5)

※簡易接着性試験　・引張接着性試験(施工部位　)

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

6 防水の施工

※防水工事は、以下のいずれかの施工業者（元請業者又は一次下請業者に限る）による施工とする。

○　新潟県内に主たる事業所を置く事業者であり、かつ以下のいずれかの資格を有する者が所属している事業者。なお、当該資格を有する者が本工事の施工に関与することとする。契約後、証する資料の写しを提出し監督員の確認を受けること。

・建築仕上げ改修施工管理技術者（(一財)建築保全センター）
・防水施工管理技術者（Ⅰ種）（(一社)全国防水工事業協会）
・登録防水基幹技能者（(一社)全国防水工事業協会）

○　新潟県防水工事業協同組合員

7 防水保証

・　提出しない

※　「受注者」「一次下請業者」「補償団体・損保会社又は新潟県防水工事業協同組合」と３者連名の保証書を提出する。ただしこれにより難い場合は監督員と協議すること。

工法種別	施工箇所	保証期間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間

※保証書の提出部数　正本１部

10 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	等級	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	仕上げの種類
・床石		※２等	※正方形に近い矩形			

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)

表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・　行う　(10.6.2)

屋内のワックス掛け　・　行う　(10.1.5)

11 タイル工事

1 セラミックタイル

タイルの種類　(11.2.2)

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う(※外装タイル　・　)

2 壁タイル張り工法

内装タイル　・改良積上げ張り　(11.2.7)(表11.2.3)

外装タイル　・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り

ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り・モザイクタイル張り

下地モルタル塗り　※標仕15.3.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う(※外装タイル　・　)

3 コンクリート素地面の処理

・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　(11.2.7)

施工範囲　※　図示

12 木工事

1 表面仕上げ

(12.1.4)

表面仕上げの種別	適用箇所
※　プレーナー加工仕上げ	・図示　・
・　超自動機械かんな掛け仕上げ	・図示　・
・　サンダー掛け仕上げ	・図示　・

2 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※２級 ・	※ Ａ種 ・Ｂ種	
			※２級 ・	※ Ａ種 ・Ｂ種	
			※２級 ・	※ Ａ種 ・Ｂ種	

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面			※ 上小節 ・	※ Ａ種 ・Ｂ種	
見え掛り面以外			※ 小節以上 ・	※ Ａ種 ・Ｂ種	
				※ Ａ種 ・Ｂ種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※１等 ・	※ 10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種	
			※１等 ・	※ 10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種	
			※１等 ・	※ 10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種	

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率
			(　) 造作材の場合(※Ａ種 ・Ｂ種)	・行う ・行わない	※ Ａ種 ・Ｂ種
			(　) 造作材の場合(※Ａ種 ・Ｂ種)		※ Ａ種 ・Ｂ種

3 造作用集成材

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	品名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※ １等・２等
					※ １等・２等
					※ １等・２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の等級
		化粧薄板：芯材：				※１等・２等
		化粧薄板：芯材：				※１等・２等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

4 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　(12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理
			・有り (・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級：・1等・2等・3等)	・行う ・行わない
			・有り (・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級：・1等・2等・3等)	・行う ・行わない

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
		・有り (・天然木化粧加工・塗装加工) ・無し(　)	※14%以下 ・	・行う ・行わない
		・有り (・天然木化粧加工・塗装加工) ・無し(　)	※14%以下 ・	・行う ・行わない

5 直交集成板

・直交集成板（ＣＬＴ）　(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

6 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名
		※5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	
		※5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	

12 木工事

6 合板等

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	表裏の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理	強度等級
		※12	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・行う ・行わない	・指定する(　) ・指定しない
		※12	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・行う ・行わない	・指定する(　) ・指定しない
		※12	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・行う ・行わない	・指定する(　) ・指定しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	
				・１類 ・特類	・行う	・行わない
				・１類 ・特類	・行う	・行わない
				・１類 ・特類	・行う	・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	
		・１類 ・２類		・行う	・行わない
		・１類 ・２類		・行う	・行わない
		・１類 ・２類		・行う	・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	
			・１類 ・２類			・行う	・行わない
			・１類 ・２類			・行う	・行わない
			・１類 ・２類			・行う	・行わない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ弾さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・構造用パネル

施工箇所	品名	等級	厚さ(mm)
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ弾さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

7 接着剤

ホルムアルデヒドの放散量　※　規制対象外　・　(12.2.2)(12.2.3)

8 防腐・防蟻処理

・　防腐、防蟻処理を省略できるが樹種による製材　(12.3.1)(12.3.2)

適用部位：(　)

・　薬剤の加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・　薬剤の接着材への混入　適用部位(　)

・　防虫処理　適用部位(　)

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・ ・	※0.4 ・

2 折板葺

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高(　) 山ﾋﾟｯﾁ(　) 板厚 ※ 0.6　・ 0.8
耐力による区分	・１種　・２種　・３種　・４種　・５種
材料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　厚　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

3 とい

材種　※配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　(13.5.2)(表13.5.1) ・

鋼管製といの防露　※　標仕表13.5.4による

掃除口　・有り　・無し

14 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※　適用する。　(14.1.3)

2 ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種類	施工箇所
※ＨＬ程度	
・No２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
・	

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	色合い	施工箇所
・ＢＢ－１種	無着色	
・ＢＢ－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ ・ﾌﾞﾗｯｸ	

4 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種(板厚6.0mm以上)	
	・Ｂ種(板厚3.2mm以上)	
	・Ｃ種(板厚1.6mm以上)	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

5 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形状及び寸法　(14.4.3)(表14.4.2)

※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 周辺部	野縁	施工箇所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

ふところが３ｍを超える場合の補強　※図示　・　(14.4.4)

6 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し ・ﾛｰﾙ	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・BB-1種 ・BB-2種	無着色 ・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ﾌﾟﾚｽ ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

7 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

オーブン形式アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・250形	1.6以上	・BA-1種 ・ﾌﾞﾗｳﾝ系	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・300形	1.8以上	・BA-2種 ・ﾌﾞﾗｯｸ	
・350形	2.0以上	・ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ	

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

15 左官工事

1 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.4.2による　(表6.2.5)(15.4.1)(15.4.2)

施工箇所	平たん さ(mm)	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(ﾊﾟﾈﾙ構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(溝構法)範囲	3mにつき 7以下	

2 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)(表15.6.1)

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	※砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸状
	・複層塗材Ｅ	耐候性　※３種　・２種　・１種
	・複層塗材ＲＥ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材Ｅ	樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　・ ・ｳﾚﾀﾝ系
	・防水形複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ
	・	※防水形は増塗を行う。
	・	

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.6.2)

3 しっくい塗り

※施工箇所

室名	部位

※左官業者

新潟県左官業協同組合主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。

※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法

「既調合しっくい塗り標準仕様書」（新潟県土木部都市局営繕課）による。

16 建具工事

1 見本の製作等

・見本の製作　(建具番号　)　(16.1.4)

・特殊な建具の仮組等（建具番号　）

2 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による）　(16.1.6)

3 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具の性能等級等(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)　(16.2.2)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	・	

外部に面する建具の性能等級(木下地)　(16.2.2)(表16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３	Ａ－３	Ｗ－３		

表面処理　(16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※BB-１種	・無着色
	・BB-２種	・標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
内部建具	・BC-１種 ・	・無着色
	・BC-２種	・標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 樹脂製建具

外部に面する樹脂製建具の性能等級(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)　(16.3.2)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４		
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地)　(16.3.2)(表16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－４	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３				

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級　(16.3.2)(表16.3.2)

性能等級	施工箇所
・Ｔ－１	適用箇所は建具表による
・Ｔ－２	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級　(16.3.2)(表16.3.3)

断熱性の等級	熱貫流率(W/(㎡･K))	施工箇所
・Ｈ－４	2.9以下	適用箇所は建具表による
・Ｈ－５	2.3以下	
・Ｈ－６	1.9以下	
・Ｈ－７	1.5以下	
・Ｈ－８	1.1以下	

番号に○印を付けたものを適用する。